

藤崎 トキ様(82 歳)、要介護度 3、入所施設／特別養護老人ホーム(4 年前に入所)

脳梗塞後遺症で軽い右片麻痺があります。元来の明るい性格と行動力により ADL は維持されていますが、時折トイレで下衣類を脱ぐのに手間取り、失敗してしまう事もあります。また、軽い認知症により失見当識な発言もみられますが、日常生活上の意思疎通は問題なく行えます。

【試験会場の状況】

藤崎さんは今、入浴のため脱衣場にいます。「お風呂に来るまでにトイレ行ってきた」とおっしゃっており、排泄を済ませてきたようです。その時に軽く下衣類を汚してしまったようで、ご自分で下衣類を脱いだ状態でお風呂の順番を待っています。

【ADL 情報】

- 精神状況／安定している。性格は明るい。
- 身体状況／軽度の右片麻痺があるが、ADL は比較的高い。
- 認知状況／軽い認知症はあるが、その場のコミュニケーションに問題はない。
- 立位／可能。ただし、手すりなど、持つものが必要。
- 移乗／一部介助。安定しているが、転倒の可能性もある。
- 移動／施設内は杖歩行。介助者がつく場合は見守り程度。
- 座位／安定。
- 更衣／一部介助だが、時間をかければほぼご自身でできる。動かしにくい所を手伝う程度。

【試験内容】

あなたは特養に 5 年勤める中堅スタッフです。現在はリーダー職を担っています。今日から出勤するインターン生(新卒内定者)の指導担当を任されました。試験官をインターン生に見立て、下記①～④の項目を実演指導。
⑤は試験官(インターン生)が最後に尋ねた時に答えなさい。

※試験時間 15 分。実演指導中の発言・説明を試験官が聞き取れなかった場合、加点対象になりません。

- ① 椅子からの立ち上がり。
- ② 上衣類の更衣。
- ③ 脱衣場から浴室洗い場までの歩行。
- ④ 洗髪・洗体の大まかなポイントについての説明。
- ⑤ 次の 2 点についての簡単な説明。 i「入浴の目的」、ii「入浴前・中・後における注意点」

【実技試験会場図】

